

譜例 1

Trumpet 1 in B♭

Trumpet 2 in B♭

Trumpet 3 in B♭

また、この本を読んでいる人の多くは、日本人もしくはアジア圏国籍の人だと思うけど、日本では音楽と言うとすぐさまメロディばかりを重視しちゃうよね。まあ確かに、音楽の3要素と言えば最初にメロディ、となるんだけど。ヨーロッパでは基督教の影響がかなり強いので、それこそ生まれたときから教会で聖歌や賛美歌を聴いて育っているんだ。だから和声感覚が普通の人でもちゃんと身につけている。教会で歌うだけでなく、ドイツやチェコのビアレストランに行くと、オッチャンもオバチャンも酔っ払って歌いまくっている。日本だって酔っ払って歌うからここまでは変わらないけど、その酔っ払ったときの歌の中身が大違いなんだなあ。日本だと速攻でカラオケだったり手拍子込みで民謡を歌ったりするけど、どっちもメロディばかりだよ。でもあっちのビアレストランでは、オッチャン、オバチャンが見事な混声四部合唱で歌っちゃうんだよ。もちろん、みんなプロのミュージシャンじゃないよ。日本でメロディばかり重視するのは、日本伝統音楽の流れをくんでいるからかもしれないけど、この話をするためにはもう一冊本を書かなきゃいけないので、とりあえずここまで。

同じメロディでも和声が変わると

で、その日本人が一番重視するメロディだけど、そのメロディの表情を決定するのが、実はこれから学んでいく「和声」なんだ。同じメロディでも和声が変わると表情がこんなにも変わる、といういい例があるから挙げておこう。

譜例 2: P.I. チャイコフスキー 交響曲第5番ホ短調作品64より 第1楽章序奏部

Clarinet in B♭

Bassoon

Bass Clarinet in B♭

Baritone Sax. in E♭

Contrabass